マナウス日本人学校　学校だより

マナウス

学校教育目標
・自ら進んで学びとる子ども　（知）
・礼儀正しく思いやりのある子ども（徳）
・心と体を鍛える子ども　（体）

2022年(令和4年)9月27日　第5号　文責:校長　八幡　良一

いつもと違う場面で学びを深める

２学期に入って１か月以上経ちますが、その間に多くのことを学ぶ機会がありました。

８月２４日(水)には、エフィジェニオ・サーレスで養鶏場を営む宮本倫克氏に来ていただき「移住そして南米大陸の魅力」と題して、中学生で家族と一緒に移住した当時の画像を見ながら、お話を聞くことができました。岸壁と船を結ぶたくさんのテープで祝う光景や、甲板で行われた赤道祭りでの集合風景など貴重な写真を見せていただきました。図書室にある『アマゾンからの手紙』をもう一度読んでみたくなりました。また、自身が訪れたパナマ運河やマチュピチュの画像を示しながら南米の魅力も紹介してもらいました。不思議な動物たちを見ることができました。

９月２日(金)には、アマゾナス州にあるチョコレートメーカーNAKAUさんの話を聞きました。家族経営の農家にアマゾンの質の良いカカオ(ブラックゴールド)を育ててもらい、チョコレートを作ります。カカオを育てるための環境づくりや、製品にするまでの大変さを学びました。プレゼンテーションに使った説明文は、もともとポルトガル語でしたが、全日コースの子どもたちにわかるように、ミレーナ先生が日本語を加えてくれました。お話の後は、直にカカオ豆を触り、いただいたカカオの苗を大きく成長することを願って、みんなで植樹しました。

８月２７日(土)には、アマゾン体験学習を楽しみました。今年度は修学旅行が行われるので日帰りでしたが、班活動や係の仕事を、責任を持ってやり遂げました。また水遊び、船レク、プライアレクを通して、仲間の大切さを感じた体験学習になりました。今回も美味しい食事を作ってみんなを迎えてくれた出田プライアの皆さん、みんなの健康と安全を守るために、メタルフィーノ社から看護師、軍警察から２名の警察官が帯同してくれました。たくさんの人が見守る中、他では体験できない思い出に残る素敵な学習になりました。

【１０月の主な行事】

１２日(水㊗)守護神祭
１３，１４日(木・金)全日中学部中間テスト
２０日(木)日本文化コース選考試験
２４日(月㊗)マナウスの日